

## 引き続き口蹄疫防疫対策の徹底をお願いします！

夏期休暇シーズンには、口蹄疫が発生している国をはじめ、海外との人や物の動きが一層激しくなり、日本国内へ口蹄疫ウイルスの侵入リスクが高くなると考えられます。

農家の皆様には、アジア・アフリカ等本病発生地域\*への渡航を可能な限り自粛し、海外渡航者が農場に立ち入らないように注意すること、農場訪問者の記録を行うなど飼養衛生管理基準の再徹底をお願いします。

仮に渡航する場合には、以下の点に留意してください。

### (1) 渡航に当たっての留意事項

家畜市場、農場、と畜場等の畜産関連施設に立ち入らないこと。

動物との不用意な接触を避けること。

肉製品等を日本に持ち帰らないこと。

帰国の際には、到着した空海港の動物検疫所カウンターに立ち寄り、家畜防疫官の指導を受けること



### (2) 帰国後の留意事項

帰国後一週間は必要がある場合を除き衛生管理区域に立ち入らないこと。

海外で使用した衣服及び靴を衛生管理区域に持ち込まないこと。やむを得ず持ち込む場合には、事前に洗浄、消毒その他必要な措置を講ずること。



## 衛生管理区域への病原体の持込み防止の再徹底を！

\* 農林水産省ホームページ「世界における口蹄疫の発生状況」

[http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku\\_yobo/k\\_fmd/pdf/fmd\\_world.pdf](http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/pdf/fmd_world.pdf)

山梨県東部家畜保健衛生所

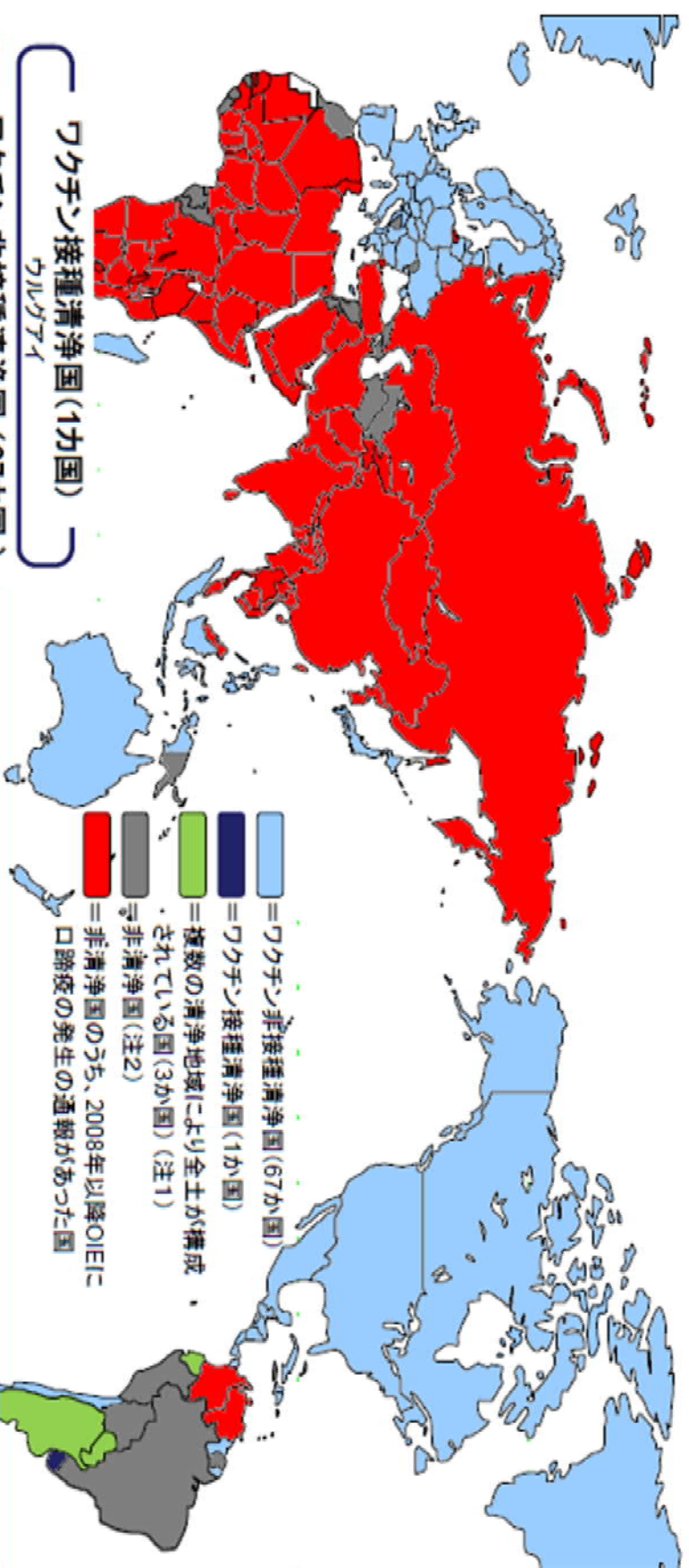
電話・・・055-262-3166 FAX・・・055-262-3108

夜間の連絡は・・・090-5535-8005

土日・休日の連絡は・・・090-5535-8005 または090-5544-7868

# 世界における口蹄疫の発生状況

2015年5月29日現在



口蹄疫の発生が報告された国

口蹄疫の発生が報告された国

～ヨーロッパ(39カ国)～	～アジア(5カ国)～	～オセアニア(4カ国)～	～南北アメリカ(15カ国)～
アルバニア	日本	オーストラリア	カナダ
オーストリア	インドネシア	ニュージーランド	チリ
ベラルーシ	シンガポール	ニュージーランド	コスタリカ
ベルギー	ブルネイ	パプアニューギニア	キューバ
クロアチア	フィリピン	～アフリカ(4カ国)～	エルサルバドル
キプロス		スワジランド	グアテマラ
英国		マダガスカル	ガイアナ
サンマリノ共和国		モーリシャス	ホンジュラス
		リトニア	
		ルクセンブルク	
		マルタ	
		オランダ	
		ノルウェー	
		ポーランド	
		ポルトガル	
		ルーマニア	
		スロバキア	
		スロベニア	
		スウェーデン	
		セルビア	
		モンテネグロ	
		ボスニア・ヘルツェビナ	
		タイ	
		スイス	
		ウクライナ	
		ブルガリア	
		スペイン	
		ハンガリー	
		アイスランド	
		アイスランド	
		イタリヤ	
		ラトビア	
		リトニア	
		ルクセンブルク	
		マルタ	

注1 国の全土が、口蹄疫接種清浄地域又は口蹄疫非接種清浄地域により構成されている。①アルゼンチン・2つの口蹄疫非接種清浄地域と1つの口蹄疫接種清浄地域。②パラグアイ・2つの口蹄疫接種清浄地域。③エクアドル：1つの口蹄疫非接種清浄地域と1つの口蹄疫接種清浄地域を含む。

注2 非清浄国には、その一部にOIEが公式認定する口蹄疫非接種清浄地域/口蹄疫接種清浄地域を含んでいる国を含む。

注3 フリビンは、口蹄疫非接種清浄国認定 エクアドル：本土が口蹄疫接種清浄地域、ガラパゴス諸島が口蹄疫非接種清浄地域にそれぞれ認定 ※ 出典：OIE (2015年5月のOIE総会で認定)